

3ヶ月に一度のこんにちわ

デフメンバーが交代で
お便りします。

【福島県立聾学校のこと】 榎本トオルの話より

先月9月20日、福島県立聾学校で「一寸法師」の公演をして来ました。幸い、今回の大震災に見舞われた地域の聾学校は、校舎が使えなくなり、授業が出来なくなるということはなかったのですが、心配だったのが、放射能汚染でした。

震災の影響で始業式は遅れ、放射能汚染の危険があるため校庭に出ることはできず、暑い時期でも窓は開けられませんでした。そんな状況の中で、先生方、児童生徒のみなさんは、大変な思いをされながら授業をつづけたそうです。また生徒児童のみなさんは、自分に被曝の恐れがないか確認できるよう、放射線量の計測器を持っているそうです。本当に毎日不安を抱えながら過ごされているんだと、つくづく感じ、何とか応援したいと心から思いました。

公演に行ったときには、校庭の土を削る除染作業も終わり、また気温も涼しくなって、窓を開けずに公演をすることができました。公演もみなさんに楽しんでもらって、本当に良かったと思います。

また、校舎の中には全国の聾学校から応援の寄せ書きメッセージが貼られてありました。その中に川崎市立ろう学校からのメッセージがあり、メンバーの善岡がワークショップで川崎のろう学校に行ったときに、メッセージが貼られてあったことを伝え、皆大変喜んでいました。これからも、みんなで色々応援し、励まして行きたいと思います。



日々制作... 制作メンバーのコラムです

「川崎より愛をこめて」 by 大木翔吾

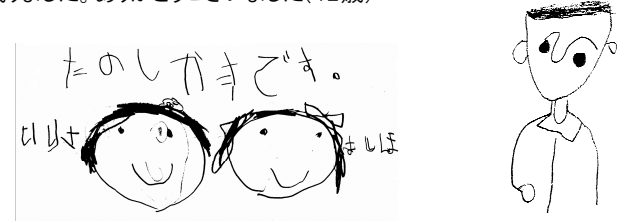
初めまして。9月より制作としてデフパペに入門しました、大木翔吾です。団内での愛称は、「ぼんちゃん」又は「ぼんどくん」。ジェームズ・ボンドの如く数多の女性を惹きつけつつ、颯爽と仕事をこなすから...なんて由来ではもちろんなく、タレントの大木凡人(おおきぼんど)さんに掛けてです。苗字だけで顔は似ていません。たぶん。

前職は営業を6年間、平行して友人の劇団のお手伝いを2年ほどして参りました。今はデフパペの先輩方に、優しく厳しく手話を教えてもらっています。そして先日、団員と初めて手話のみでの会話が成立したんです。通じたのは一言だけだったけど、あれは非常に嬉しかった。

さて、デフ・パペット・シアター・ひとみ30周年記念作品『森と夜と世界の果てへの旅』みなさんはもうご覧になりましたか？私は入団前に観たのですが、その色彩の鮮やかなことといたらもう言葉もありません！その他にも、個性溢れるキャラクターや主人公ジュジュマンを待ち受ける困難...とにかく見どころ盛りだくさん！
すでにご覧いただいた方、ありがとうございました！
そして、まだご覧になっていない方、楽しみに待っててくださいね！

感想コーナー 「はこ/BOXES～じいちゃんのおルゴール♪」大津(8/25) 松江(8/26)雲南(8/28)公演より

■公演を見させて頂き、温かさを感じました。時代のうつりかわりと家族の様子のおうつりかわり、それが表現されていて、たくさんの変化と人の状況の変化、嬉しくもあり、なんだか寂しくも感じました(30歳)■初めてこの公演を観させて頂きました。私は今、聴覚障害のある方にどうすれば歌やメロディーを伝えることができるだろうかということを研究しています。今日の公演の様々な表現を観させて頂き、とても勉強になりました。とてもおもしろかったですし、感動しました。ありがとうございます。また是非観に来たいと思いました(19歳)■すっごくおもしろかった。写真の男の子が変な姿をするのがおもしろかった(9歳)赤ちゃんのパンツを投げている所、赤ちゃんが泣いているのがおもしろかった(6歳)箱で、様々な文明道具をあらわしているのがとてもおもしろかったです。6才は聴覚障害です。とても笑っていて、その様子を見て、私もうれしくなりました(37歳)■以前からせりふのない人形劇、ろう者と健聴者との劇団ということで関心をもっていました。なかなかよい作品だと思いました。オルゴールの曲もすてきでした。ただ、耳のきこえない方も一緒にみるとなると、例えばオルゴールの音を音符の形を動かす表現の辺り、もう少し音楽のイメージに合わせて動かすなど、より細かい表現ができればすばらしいのと思いました。(やや動きがバラバラで残念)また、再演の機会に恵まれますように。ありがとうございました(40歳代)■戦争の場面もだが後半こわかった。便利なものを拒否できる強さが自分にあるか問われた作品だった(53歳)■おもしろかったです。おなじはこなのにいるんなものになるのがおもしろかった(8才)■おばあさんの子どもの時と、まごのじだいまごのじ代いはとてもべんりだなあと思いました(11歳)■とても素敵な人形劇でした。言葉(台詞)がないぶん、想像力をかきたてられ、頭はフル回転でした。そして最後には、あったかさが残りました。ありがとうございました(42歳)



★お知らせ★

☆善岡修が出演する映画「寄りびと」の上映会があります。お時間のある方は是非お越し下さい。
日時:11月3日(木)①13:30②16:00 会場:港区赤坂区民センター
共催:港区聴覚障害者協会、プロディア
申し込み: FAX 03-3746-2933 E-mail: yoribito@yahoo.co.jp

☆現在榎本を中心に横浜市立ろう特別支援学校で行っているワークショップは、児童の皆さんが宮沢賢治作「注文の多い料理店」を人形劇で演じます。この発表が11月12日(土)にあります。今回はひとみ座からも毎回色んな講師を呼んで、こどもたちと作品製作に取り組んでいるので、どんな仕上がりになるか、今から楽しみです。

公演スケジュール・お知らせ

(10月15日現在)

「森と夜と世界の果てへの旅」

- 10月22日(土) 新潟市 新潟市民プラザ (開演14:30)
- 10月23日(日) 佐渡市 トキのむら元気館 (開演14:30/18:00)
- 12月1日(木) 長崎県諫早市 諫早文化会館 中ホール(開演19:00)
- 12月2日(金) 島原市有明文化会館(グリーンウェーブ 大ホール) (開演19:00)
- 12月3日(土) 福岡県 遠賀町中央公民館 (開演18:30)
- 12月23日(金) 久留米市城島総合文化センター(インガットホール) (開演14:30)

「はこ/BOXES じいちゃんのおルゴール♪」

- 10月15日(土) 岩手県宮古市 岩手県立恵風支援学校体育館 (開演10:00)
- ☆10月20日(木) 群馬県前橋市 共愛学園中学校
- 11月19日(土) 埼玉県入間市 入間市産業文化センター (開演18:00) 入間おやこ劇場例会
- 12月11日(日) 東京都荒川区 日暮里サニーホール (開演11:00)
- 12月18日(日) 長野県上田市 上田創造館文化ホール(開演14:00)
- 2012年1月9日(月) 千葉県松戸市 松戸市民劇場
- ☆1月12日(木) 東京都 成城学園
- 1月14日(土) 山口県宇都市文化会館文化ホール(開演14:00)

追加・変更される場合もありますので、詳しくはデフパペ事務所にお問い合わせ下さい。

「稲むらの火」

- 12月10日(土) 東京都立川市 立川防災館(開演13:00)

「人形劇づくりワークショップ(榎本・牧野・富安 他)」

☆9月7日から11月末まで全10回 横浜市立ろう特別支援学校

「表現とコミュニケーションのワークショップ(善岡・榎本・やなせ)」

☆9月より全6回 千葉県鎌ヶ谷市立初富小学校

「音ワークショップ(やなせ・善岡)」

☆11月14日(月) 横須賀市立ろう学校
☆11月18日(金) 川崎市立聾学校

「善岡修ワークショップ」

11月1日 甲府

☆印は学校公演です。観劇ご希望の方はデフパペ事務所にご連絡下さい。

★お知らせ★つづき

☆人形劇団ひとみ座創立60周年記念シェイクスピア3部作の第3弾『テンペスト』の公演が来年2012年3月23日～27日にあります。場所は今年デフパペが30周年記念作品を発表した全労災ホール/スペース・ゼロです。デフパペメンバーも出演します。詳細は次号でお知らせいたします。皆さまどうぞお越し下さい！

今回は、東日本大震災で被災された方々の支援、被災地の復興支援として、私たちデフパペが出来ることについて話合ってみました。

人が生きていくためには衣・食・住・文化(生の舞台)が必要といわれていますが、デフパペらしい支援はやはり文化面だと思います。

先日福島の高野学校で、3年に1度の演劇鑑賞教室にありがたくも呼ばれ、「一寸法師」を上演しました。

幼稚部から高等部までの全校児童生徒、そして先生と一緒に和やかに過ごすひと時となりました。

こんな大変な時に、私たちの公演がどんな風に受け入れられるのか不安もありましたが、実際上演してみると、皆さんの笑顔にそんな不安も吹き飛んでしまいました。そしてまた、皆が「普通」に笑える場をつくることの必要さを改めて感じました。

またこのニュース発行後に、岩手県宮古市で「はこ/BOXES」を公演させていただきます。この公演は実行委員会の方々を中心に1年ほど前から進められていたのですが、今回の大震災に見舞われました。予定されていた会場は使えなくなり、被災された方々も大勢いる中で、実行委員会の方々「だからこそ、みんなで人形劇を楽しみたい」と、公演開催を決意なされました。本当にありがたいことです。

ただ、こういうみんなが集まって楽しむ場をいつ、どのように作るかというのは、一辺倒には決められません。受け入れる方それぞれの要望に沿うことが大事です。色々な創造団体が被災地に向けて支援活動を行っていますが、デフパペとしては、ろう学校やろうあ協会、手話サークルを中心に心の支えになりたい気持ちです。可能であれば公演を、あるいは公演が無理でも心の交流ができればと切に願います。

私たちが出来ることから、一步一步コツコツとやって行きたいと思います。まずは、直接お会いできなくてもメールやお便りで被災された方の近況を伺ってみる。そしてそれを全国の皆さんに発信して行く。また公演先で見たり聞いたりしたことを発信して行く。公演時には募金活動をする。また公演料の一部を積み立てて支援に当てる。例えば被災地のろう学校公演に当てたいとも考えています。

今回の話合いの中で、私たちは再確認しました。デフパペは、芝居を通して人と人をつなげるために存在し、活動して行くのだと。

デフパペニュース 秋号の目次

デフパペイズム

震災復興支援でデフパペができることについて話しました

3ヶ月に一度のこんにちわ

メンバーのコラム

今回の担当は、榎本トオルです。

日々、これ制作・・・

デフ制作メンバーのコラム

今回の担当は、新人の大木翔吾です。

感想コーナー

8月の「はこ/BOXES」の公演より

お知らせ

メンバーの様々な活動のお知らせです。

公演スケジュール

デフ・パペットシアター・ひとみ
友の会 会員募集中!
観劇料の割引や友の会通信などデフパペがより身近になる特典をご用意しています。
詳しくは、デフ・パペットシアター・ひとみ事務所までお問い合わせください。
年会費 : 1500円
ペア会員 : 2500円



ろう者と聴者が共につくる

デフ・パペットシアター・ひとみ
DEAF PUPPET THEATER HITOMI

〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田3-10-31(公財)現代人形劇センター

TEL: 044-777-2228

FAX: 044-777-3570

e-mail: deaf@puppet.or.jp

URL: http://deaf.puppet.or.jp/



デフ・パペットシアター・ひとみ